家の中に笑い声が響く、とても幸せな時間が印象的

第一生命保険株式会社　事業内容／金融、保険業　所在地／愛知県名古屋市　Report5



第一生命保険（名古屋市）では、さまざまなライフイベントを行いながら、安心して働き続けることができるよう、両立支援制度を充実させており、「プラチナくるみん」企業に認定されています。

今回は、４人の学生を受け入れてくださいました。

１人目の受け入れ先は、保育園男児の子育て中の武藤綾さん。今回のインターン生は、２人とも保育者を目指す学生。企業でのインターン体験が初めてであり、初日は緊張していましたが、明るい武藤さんや職場の皆さんに支えられ、楽しく学べました。さらに、子育てしながら働く保護者の方を、保育者の視点でどうサポートできたらより子育てがしやすくなるのか？など、自分の将来の姿と結びつけて考えられました。

また、会社にある制度を生かして子育てと両立することは、その仕事を長く続けられるとともに、仕事でのやりがいや自分ができることが増えるため、組織に感謝しながら貢献していく気持ちを強くしていました。



岡崎女子大学
山下菜々乃さん

挑戦は新しい発見につながる

このインターンでは、多くの出会いと発見がありました。今の自分が見ている世界はほんの一部分に過ぎず、挑戦していくことで新たに見つかることがあると感じました。



岡崎女子大学
山本柚美さん

共働きのプラスのイメージが増えた

将来の自分像をイメージできたり、今まで気づかなかった多くのことを知るとともに、共働きのやりがいや楽しさも感じました。この経験を通して将来に生かしていきたいです。

受け入れ先の方の声

学生の方と接して新鮮な気持ちになれました。２日間とも同じ学生の方がいらしたので、とても子どもがなついており、帰り際に涙が出てしまうほど、楽しかったようです。

（名古屋第二オフィス　武藤綾さん）

両立支援制度とともに、周囲の理解に支えられる職場を体感

第一生命保険株式会社　事業内容／金融、保険業　所在地／愛知県名古屋市　Report6



第一生命保険では、もう一つの受け入れ家庭にご協力いただきました。保育園に通う女の子の居るご家庭の荒光恵里さんです。荒光さんのオフィスでも、武藤さんと同様、充実した制度と理解ある職場風土のもと、多くの女性が活躍しており、たくさんの社員の方とお話しする時間をご用意いただきました。

たくさんのロールモデルと出会えたことはインターン生にとって刺激になりました。具体的にどのように両立しているのか？どのような制度があるのか？など、積極的な質問に対して、快く教えていただきました。実際に営業に同行させていただき、お仕事の様子を拝見させてもらえました。

また、家庭では、保育園のお迎えから同行させていただきましたが、笑顔で迎えてくれた娘さんにホッとするインターン生。お別れが寂しくて涙するくらい仲良くなることができました。

職場にも、家庭にも笑顔が溢れるためには、充実した制度はもちろんのこと、社内の理解ある環境も大事であると改めて実感しました。これからの共働き家庭の「新しい当たり前」になってほしいと強く感じる二日間でした。



金城学院大学
辻茜さん

多くのロールモデルと会えた

仕事と育児の両立をしている女性が周りには少なかったので、多くの方のお話はとても参考になり、将来の糧になりました。企業や自治体の制度もあることを知り、安心しました。



南山大学
向茉実さん

自分の将来を考える濃い時間でした

自分の将来について具体的に考えたことがなかったので、自分の将来について、しっかり具体的に考える機会が得られるインターンでした。この期間は、とても濃密で充実していました。

受け入れ先の方の声

子どもととても楽しく遊んでもらえました！学生の方が仕事のことや人生のことなど、たくさん質問してくれたことで、自分自身のことを振り返ることができて良かったです。

（名駅第一オフィス　荒光恵里さん）

インターンシップは2019年8月～9月に実施。本レポートに含まれる所属・年齢などはすべてインターンシップ実施時のものです。
作成・発行／愛知県労働局労働福祉課（2019年11月）〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL 052-954-6360(ダイヤルイン)

仕事と家庭のインターンシップ

inあいち













Report

愛知県では、今後、社会の担い手となる若い世代の方が、
仕事と家庭の両立体験を通じ、長期的な視野で人生設計を考える
「仕事と家庭のインターンシップinあいち」を実施しました。
このインターンシップは、学生が企業等での就業体験をするだけでなく、
そこで働く子育て中の従業員の家庭を訪れ、家事や育児をあわせて体験するもので、
12名の学生（2人1組）が6家庭を訪れ、仕事と家庭の両立について理解を深めました。
このレポートでは、インターンシップで体験したことや気付いたことなどの成果を紹介します。
仕事と家庭の両立についての関心を高め、
理解を深めていただけるものとなっていますので、是非、御覧ください。

インターンシップ　1日のおおむねの流れ

企業等でのインターン

13:00　出社・自己紹介等
14:00　職場見学・仕事体験
15:00　先輩社員等のインタビュー
17:00　退社

家庭でのインターン

17:30　社員と共に保育園にお迎え
18:00　帰宅
18:30　ごはん、遊び
20:00　家庭の方と、仕事や子育てについてヒアリング

愛知県

有限の時間を大切に自分たちらしいバランスを考え続ける

株式会社梶川土木コンサルタント　事業内容／学術研究、専門・技術サービス業　所在地／愛知県刈谷市

Report1



梶川土木コンサルタント（刈谷市）は測量・土木・補償のコンサルティングを業務としています。社長自らが（株）ワーク・ライフバランスの認定コンサルタントでもあり、率先して働き方改革に取り組んでいます。2019年には、（株）ワーク・ライフバランスによる「働き方改革企業2019」において優秀賞を受賞し、働きやすさを支援する制度が充実しつつ、社員同士もお互いの働き方を理解しています。

今回は、総務を担当する鈴木優里さんにインターンを受け入れていただきました。鈴木さん宅には、二人の小さな女の子がいらっしゃいます。保育園から帰宅後の貴重な時間を有効活用するために、時間短縮の技をたくさんご存知でした。限られた時間を有効に使うヒントをたくさん得たインターン生。

そして、梶川土木コンサルタントには、多くの育児中の社員の方が在籍されています。その皆さんにインタビューさせていただいた経験から、働き方や家族への想いはあり、社員同士・家族同士、お互いに思いやりと対話の場を持つことで、より良く働き、生きるための工夫が見つかるのだと学びました。



梅山女学園大学
小池世理佳さん

悩む前にやってみよう！と思えた

今まで育児と仕事の両立に対して不安が多くありましたが、多少不安を抱えつつも、前に進みながら、課題に直面した時に解決策を考えればいい！と前向きに考えることができました。



金城学院大学
荻原実咲さん

限られた時間を大切に使うことが大事

一緒に過ごすことができる時間は少なくとも、家族仲良く生活している様子が伝わってきて、とても素敵でした。限られた時間を大切にすることで、家族に笑顔が増えると信じられました。

受け入れ先の方の声

子育てをする中で、何を大事にしたいかを考えるいい機会になりました。また、社内で複数の社員にインタビューする時間を設けたため、普段聞けない話も聞けたのがよかったです。

（総務部　鈴木優里さん）

夫婦の家事・育児の役割分担を話し合うことの重要性を実感

清田産業株式会社　事業内容／小売・卸売業　所在地／愛知県名古屋市

Report2



清田産業(名古屋市)は、食品メーカーへ原材料を提案、販売する会社です。創業当時から受け継がれる「大家族主義」で、社員の人間性と個性を大切にしています。今回、受け入れてくださった新開寛之さんは、総務部人事課で働いていらっしゃいます。

企業内では、インターン生が３人の社員さんへのインタビューや商談や会議への同席、新商品の提案体験等を通じて、将来のイメージを描き、社会人として自分の立場を理解し、役割を果たすことの重要性を感じることができました。また、新商品の提案を考える時間をいただき、食品の「美味しい」は多くの人の時間と工夫そして試行錯誤が積み重なってできたものと感じ、食品への感謝を感じた!とインターン生。貴重な経験となりました。

また、新開さんご夫妻は、小学生の双子の娘さんの育児に奮闘中。慌ただしい日々の中でも、家事負担を夫婦で尊重しながら、軽減していました。学童保育のお迎え、夕食の準備、お風呂の支度、洗濯の片付け・・・家事を計画的に分担することで、お子さんへ優しく向き合う時間も大切にされる姿が印象的でした。



名古屋大学
清水貴広さん

子どもから頼られる喜びを感じた

歯磨きの仕上げをしてほしいと膝に頭を乗せてくれた時、自分は信頼されているのだと感じました。純粋な子どもたちからパワーをもらえるんだと、育児を前向きに感じました。



名古屋大学
澤井優子さん

自分の将来目標が描けた

男性も女性も積極的・自発的に仕事も家事・育児もされている姿を見て、古い固定観念に囚われないライフスタイルを感じました。自分の働き方、暮らし方の将来の目標にしたいです。

受け入れ先の方の声

家族にとって、非常に良い経験になりました。最初は子どもたちと馴染むことができるか心配でしたがすぐに打ち解けて、学生さんたちの力と子どもたちの力に驚きました。

（総務部人事課　新開寛之さん）

両立の工夫をすることで仕事も家庭も大切にできる

瀬戸市役所　事業内容／公務　所在地／愛知県瀬戸市

Report3



瀬戸市役所で企業支援を担当する吉田晶男さんに受け入れ先を担っていただきました。吉田さん一家は、保育園や小学校に通う3人のお子さんがいらっしゃり、とても賑やかです。二人のインターン生はともに、市役所の職員の方々、吉田さん一家の皆さんの暖かさに触れ、緊張もほぐれ、楽しく学ぶことができました。

平日も習い事や保育園・学童などへの送迎がある吉田一家。それでも両立できるように、家事負担軽減のための工夫がたくさんあり男性・女性関わらず、「やれることはやれるほうがやる!」という姿勢で、夫婦で力を合わせて家事・育児にも奮闘しています。

市役所でのインターン中は、市内の多くの機関を見学させていただき、市役所の仕事の幅広さを体感。また、育児中の職員にインタビューをさせていただきました。特に男性で育児休業を取得した方の話が印象に残ったそう。まだまだ、男性の育休が社内や社会で浸透していない現状に課題意識を持ちました。インターンで改めて育児と仕事両方とも関わりたいと強く思った二人でした。



名城大学
林遼馬さん

僕も育児に積極的に関わりたい！と思った

普段は子どもに触れる機会があまりなく、またインターン自体が初めて。不安からのスタートでしたが、皆さんに支えられ、お別れがとってもさみしく感じるくらい、貴重な機会となりました。



名古屋大学
伊藤慶司さん

大変さ以上に育児の楽しさも感じた

「育児は大変!僕に両立できるんだろうか」との懸念が強かったのですが、仕事と家庭を両立される吉田さんの姿から多くを学び、育児の楽しさも感じ、両立する将来像を具体的にイメージできました。

受け入れ先の方の声

普段は忙しくて走りっぱなしの状態で生活を振り返るゆとりがありませんが、今回の受け入れを通じて少し立ち止まって客観的に自身の家庭のことや両立のことなどを考えることができました。

（地域振興部産業政策課　吉田晶男さん）

自分の行動に責任は持ちつつ、周囲に頼ることも大切

株式会社山田商会　事業内容／建設業　所在地／愛知県名古屋市

Report4



ガス機器をはじめとして人々のライフラインを支える山田商会（名古屋市）。地域社会と共に歩みつづけていく企業を目指すためにも、常に社員一人ひとりが個人の能力を最大限に発揮できるような、職場環境の整備に尽力しています。女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組み、「くるみん」の認定や「愛知県ファミリー・フレンドリー企業表彰」の受賞などをされています。

人事部で総務・人事を担当し、職場環境づくりを推進する丸内綾奈さんが受け入れ先。保育園へのお迎えから育児体験をさせていただきました。また、効率的に作業を進めながら、子どもたちとの楽しいおしゃべりもできた夕食づくりが特にインターン生には印象的だったようです。一方で、調理の時、子どもたちの安全を見守る大変さや大切さも実感しました。

また、職場では、育児休業から復帰した社員の方と上司の方との面談にも同席。限られた時間の中で成果を出せるよう、仕事の優先順位をつけ、時には周りの同僚や上司に協力を仰ぎながら仕事を進めていくことが大切だと感じました。



名古屋大学
水野誠子さん

家庭と仕事の相乗効果を感じた

小さなお子さんとの生活は大変な一方でとても楽しいことなんだと実感しました。家庭と仕事、両方があるからこそ、それぞれのストレスも緩和されているという言葉に勇気が出ました。



岡崎女子大学
宮本歩さん

個性を生かす保育者＆親になりたい

将来を見つめ直すきっかけになりました。保育者を目指していますが、子どもたちもそれぞれ違う個性であることを実感。家庭でも職場でも、子どもの良さや個性を活かしてあげたいです。

受け入れ先の方の声

学生の方から感じ方を聞けた事が良かったです。自分としては手を抜きながら無理なく両立しているつもりだったので、「誰でも自分なりのスタイルで仕事も家庭も回していける」と感じてもらえたら嬉しいです。

（人事部人事課　丸内綾奈さん）